

【参考】
6/30TF会議
道からの提案資料

北海道における「地方創生2.0」推進体制【イメージ】



国の出先機関との連携による北海道創生支援パッケージ

地域が進めるプロジェクトの加速化
(多様な主体の広域連携・協働の推進)

北海道の優位性が高いテーマを支援

地域づくり連携会議(14振興局)

振興局

市町村

開発建設部

他の地方支分部局

地域課題・ニーズ等の把握

市 町 村

+ 支援体制の
充実強化

「地方創生コンシェルジュ制度」の充実・強化
(市町村の課題解決サポート)

道内の地方支分部局の職員

- 専門的知見やノウハウの提供
- 課題解決に向けた相談・助言
など



市町村サポート
の充実強化

北海道+内閣府北海道・東北地方連絡室

- 地域の課題に応じた人財のマッチング

地域が抱える様々な課題

地域の魅力を活かした食・観光施策

スマート農業

AIの活用

買い物弱者支援

GXの推進

通信インフラ

振興局1プロジェクトについて

プロジェクト名：『日本遺産「炭鉄港」×「地域資源」による空知の創生』



■ 中長期の目標

- 空知特有の要素は、産業遺産、食、ワインなど
地域資源の価値向上、交流人口の拡大による地域活性化



炭鉄港ガイドツアー（美唄市） そらちオータムフェスティバル
(岩見沢市)

■ これまでの主な取組

- 炭鉄港推進協議会を軸とした多様な主体による事業展開
- 文化庁による日本遺産の継続認定・重点支援地域選定（R7.7）
- 地域創生協議会による空知の魅力発信、知名度向上
- ワイン協会の設立、個性のある空知ワインを支援 など



シン・みかさワインFestival2025
(三笠市)

■ 今後の方針

- **日本遺産「炭鉄港」の受入体制、連携体制の強化**
 - 「ガイドなど人材育成」「周遊事業の広域展開」「炭鉄港サポーター制度創設」
- **国、大学、ワイン協会、食など人的・地域資源を絡めた相乗効果**
 - 「インフラツアー」「ブランディング」「空知フェスタ」「エネルギー」